

時事新報は紙面を改良し版面を一新して以降幾々の縮
數大に増加したれば廣告の効能も亦前日の比に非少し
て十一月一日より左表の如く廣告料
と改正し同日以後御申込の廣告は此改正直前に
依て其料金を可申受候此後廣告致候也

時事新報廣告
五號活字廿四字詰
二回以下 三回以上

宮内大臣の進退

宮内大臣事件なるものは局外者より見れば殆んど見
戦の如し之を以て大不敬なと立場やは本氣の沙汰と
も思はれず又其大不敬の聲に驚て候て候て新聞雑誌を處分
したるが如きも狼狽と云ふの外なし都て一笑に附し去
て然る可きが如くなれども兒童社会にして意外の影響
を生ずるみどあり前日我輩の敢て一言したる所以にして
此に付は聊か記したきは宮内大臣進退の事なり或者
は云く宮内大臣が斯くまでに非難されたる以上は宜しく
辭職す可しと又或者は云く新聞雑誌の記す所眞令ひ
無根の罵詈に過ぎずとするも斯くの如き騒動を引起し
たるは畢竟するに大臣が薄儀の致す所なれば辭職せざ
く辭職す可しと又或者は云く新聞雑誌の記す所眞令ひ
一體の騒動を免かれず其次第は彼の雜誌の文章を
見るに本筋の文章に序つるは勿論なると共に又宮内大
臣の文章としても筆の運びの良きものに非ず中には多少事
實に根ざるものあるかも知る可からされども是れどとて
別に取扱ひたる點などは何人の目にも明にして要す
天下の人を相手にして軽い口調で可らざる者なし我輩は
固より宮内大臣を見て辭職の様子なりと保證するに非
ず其行に於て多少難ず可きものもある可しと雖も左れ
はどて僅に一小雜誌に取扱ひもなき辭職の文字を井べ
たるが故に之が爲めに其職を解す可しと云ふが如きは
天下の過失を以て小僧の進退よりも軽じとするものに
して辭職の舉言を眞に受けて喜んでするに異ならず假り
て今日にも恩讐舊生ありて某大臣と免職せしむんと欲
し有るふと無あると取交ぜて一篇の攻撃文を草し發行
せしも止む無れなる田舎の小雜誌に掲載すれば其大
臣は舊生の往來通りに實ちに辭表を呈するか天下の奇
哉、大臣は舊生の玩弄物にして其襲撃は漫語放言の命
力ある所に在りと雖と可し左れば今朝會ひ宮内大臣に
前に謝罪す可れど由わりとするも是れは別問題として
昨今流行の騒動の爲めに特に憤慨するは我輩の断じて
あらざる新事と或は政敵の文章を公にしたる者は恰も
日本の國をとしてお騒動を望むとならん又言論自由
の眞理よどぎと理由として政府に味方したる政黨員等も
皆眞理と其宣傳を誇らしたるが爲め騒動を起すと大
なる事、そめての事に宮内大臣の辞職を見れば俗
に不謹慎の如きの聲を廢して唯世間に對して眞理
の聲として字と希望するなどならん自から人間世界に
のる事からとされども却て是れ爲めにする所ある私

○ 上海特報

情にして其私ば猶ほ彼の一派の論者が輿論の眞實を奇
貨として疾呼絶叫以て私に自家野心の目的と譲せんと
したるものと同一様にして共に聞くに足らず根も葉も
なき一些事の爲めに不忠不義の大謗論を生じ其物論に
基づいて雑誌新聞紙の禁止停止を演じ遂に宮内大臣の
進退論にまで進んで立場などは恰も一團の政論を小兒
の體に演ずるものにして我輩は唯その小兒等の論調
低くして氣品に乏しさを憐るのみ

きも余は實らずに一步を踏んで吳淞に埠を定め此所に我居留地と算くの百年の大計なるを信ず如てとなれば之れを從來の歴史に無すに江蘇江の埠遷は年々其度を高め到處多少の人力を用ひるも其効なきが如し况んや清官吏が又容易に其後難に従事せざるは天津の今日に於て既に明なるに於てをや去らば今後の貿易港は吳淞に移るべきと以て地位トし更に適當の方法を以て吳淞上海を連結せば其將來の利益は推して知るべし去れを我當局の有司又如何の策あるや知るべからざれを要は只居留地開闢の盛んなる今日一日も速に其地區を擴定するの急務なるを見るなり

前報余は杭州領事が同地の洋務局に向ひ我居留地に於て清人の店舗を所持するふと及び茶樓妓館を建設するふとを諷じたき旨懸合ひなりとの事を支那新聞の報するが體に報道したりしが此間再探する處によれば右は全く事實無根の事にして茶樓妓館を設けて爲めに風儀を備す等の事は或は適當の方法を設けて之を禁制するや否やは計り難きも我居留地内に於て清人が店舗を所持すべからざるなどとの事は全然虚報なるが如く寧ろ我政府の方針は出來得る限り清人と近接して以て居留地の繁榮を期するものなれば前記支那新聞の報道の如きは全然誤報を傳ふるものなりと云ふ又云ふ杭州には難きに洋務局を置きて居留地及び通商の事を司りしが此次愈々新税關を開設したるを以て是等一切の事は税關の司る事となし洋務司を撤したりと云ふ

我政府が製造品課税問題に同意したる代りの権利とし
て新居留地を上海天津漢口廈門の四港に開設するを得
るとの事一たび發表するや否や當地の如きは兼て居留
地の狹小なるを感じつゝありしとて英米佛の三租界
は各口實を得て更に之を擴張せんとするふとは既に報
道したる處なるが此頃獨逸も亦東洋に利害の關係多き
ふともて新たに居留地を得んみどを望みつゝありと云
ふ而して今當地に囲さする所によれば三租界の擴張は
地方官の喜ばざる所なれども勢之を許すの已むを得ざ
るに至れば佛は地形上勢其東方十六浦の方面に地盤を
撰々し英は其西南の郊野に地區を擴張し米は其北方
楊樹浦に其地所を撰定すべしと故に日本にして進んで
速に其地所を撰定し此舉に先づにあらんば日本は遂
に不適當の地所を撰々の已むを得ざるに至るべしと而
して今支那人の說を聞くに彼等は日本居留地適當の場
所として米租界の西南端より蘇州江に沿ひて英租界と
地を接するの地より佳なるはなしと云ふ而して其理由
とする所は獨特尤も繁榮の區なる英租界即ち上海の中
心點に近ちと以て速に繁榮を致すべしと云ふにわり去
れさせ居留地確定の主たる目的は百年の國利を圖くにあ
りて眼前の小利益にわらず且や居留地として適當の埠
頭なければ殖を甚用となざず佛界の東方十六浦は河既
に浅く他日吳淞江の盜々土砂の爲に填塞するに至れば
又無用の埠のみ楊樹浦は其對岸滬東に埠頭を置くにわ
らずんば既に既に大船の停泊を爲すを得ず故に楊樹浦
の埠と稱して居留埠となさんには其對岸なる滬東の一部
分を擇さるべからず故に若し適當の候附と定め充分に
擴張をならざれば楊樹浦十六浦共に幾分の用を爲すべ

きも余は實らずに一步と進んで吳淞に埠を定む此所に我居留埠と號くの百年の大計なるを信ず如御となれば之れを從來の歴史に無すに江蘇江の埠頭は年々其度を高め到處多大の人力を用ひるも其効なきが如し况んや清官吏が又容易に其後難に從事せざるは天津の今日に於て既に明なるに於てをや去らば今後の貿易港は吳淞に移るべきを以て地をトシ更に適當の方法を以て吳淞上海と連せば其將來の利益は推して知るべし去れを我當局の有司又如何の策あるや知るべからざれば要は只居留地問題の底んなる今日一日も速に其地區を搞定するの急務なるを見るなり